

2020年8月28日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

## **再生エネルギー専門企業として初となるグリーンボンド 「レノバグリーンボンド」の引受けについて**

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、株式会社レノバ（以下、レノバ）が再生エネルギー専門企業として初めて発行するグリーンボンド<sup>(1)</sup>「レノバグリーンボンド」（5年債70億円、7年債70億円、総額140億円）の引受けにおいて事務主幹事並びに Green Bond Structuring Agent<sup>(2)</sup>を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

レノバは、「グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し重要な社会的課題を解決する」という「ミッション／経営理念」を掲げ、太陽光、バイオマス、風力、地熱といった再生可能エネルギーに特化した発電事業を営んでいます。さらに、事業を通じて2030年までの累積値として1,000万tのCO<sub>2</sub>削減に貢献することを、SDGsコミットメントとして掲げています。

本グリーンボンドは、適格性と透明性の確保及び投資家への訴求力向上のため、グリーンボンド原則2018（ICMA）及び環境省グリーンボンドガイドライン2020年版に則したフレームワークを策定し、株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCRグリーンファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「Green 1（F）」の本評価及び「JCRグリーンボンド評価」の最上位評価である「Green 1」の評価をそれぞれ取得しております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(レノバグリーンボンドの概要)

発行会社：	株式会社レノバ	
名称：	株式会社レノバ第1回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)	株式会社レノバ第2回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)
取得格付：	BBB (JCR)	BBB (JCR)
年限：	5年債 (2025年9月3日償還)	7年債 (2027年9月3日償還)
発行額：	70億円	70億円
利率：	1.000%/年	1.390%/年
発行日：	2020年9月3日	
主幹事：	三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券	
資金使途：	2023年9月までに秋田県由利本荘市沖洋上風力発電事業、苓北風力事業及びクアンチ風力事業向けの開発に係る投融資資金（リファイナンスを含む）に充当する予定であります。	

(1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。

レノバグリーンボンドは国際資本市場協会 (International Capital Market Association :ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者評価機関である Sustainalytics からセカンドパーティ・オピニオンを取得しています。

(2) グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

以上